



あなたが風しんの感染を拡大させてしまう 可能性があります



1 お手元に届くクーポン券*により、健康診断の機会やお近くの医療機関で抗体検査を受けましょう。



2 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、予防接種を受けましょう。

対象者は**風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料***となります。

2019年度は、1972(昭和47)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性に市区町村がクーポン券を送付します。
なお、2019年度にクーポン券が送付されない・届いていない対象者も市区町村に希望すればクーポン券を発行し、抗体検査を受けられます。*
子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう。

Q:なぜ風しんへの抵抗力が必要なのか?

A ・成人は小児に比べて症状が重くなる可能性があります。



Q:風しんに感染すると何が問題なのか?

A ・電車や職場など人が集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。
・妊娠早期の妊婦に風しんを感染させると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。



抗体検査

職場での健康診断や近隣の病院・診療所で受けられます。*
クーポン券を使えば抗体検査は無料となります。

抗体あり

・風しんへの抵抗力があります。

抗体なし

・風しんへの抵抗力がありません。
・風しんにかかるリスクがあります。

予防接種を受けましょう

原則無料となります。*

風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

*2019年4月以降、順次クーポン券が届く予定ですが、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。

